

### 第三者評価結果(高齢者施設版(内容))

評価項目	第三者評価結果			
	判定結果			判定の理由
	a	b	c	
<b>A-1 利用者の尊重</b>				
A-1-(1) 利用者の尊重				
1 A-1-(1)-① 利用者信頼関係を構築するための取り組みが積極的に行われている。	(a)	b	c	職員は、利用者の目線に合わせて、丁寧にわかりやすい言葉かけや、肯定的な声かけに心がけている。 意思伝達に制限のある利用者には、タッチセンサーのナースコールやセンサーマット等を上手に活用したり、セラピューティックケア等を通して積極的にコミュニケーションを図っている。 家族との連携も密に行っている。
2 A-1-(1)-② 利用者の主体的な活動を尊重している。	(a)	b	c	自治会は設置していないが、数人が集まった時に利用者の意見を聞き、レクリエーション委員会等で利用者の声を反映している。 また、利用者が趣味や特技を活かした活動ができるように支援している。 地域の元気な高齢者・ボランティア・知人等と交流する機会も積極的に設けている。
3 A-1-(1)-③ 利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	(a)	b	c	介護情報共有シートをもとに、アセスメントを行い、職員間で情報を共有し、利用者の状態に応じた支援を行っている。 自力で手洗い・口腔ケアができるように洗面台の厚さを調整するなど、施設整備にも積極的に取り組んでいる。 身体拘束については、しないことを前提に対応策を講じている。
4 A-1-(1)-④ 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の意思を尊重する姿勢に基づいて、課題を介護サービス計画に明示して介護サービスを実施している。	(a)	b	c	介護情報共有シートや生活チェック表等から得た情報をアセスメントし、介護サービス実施計画の立案・実施・評価・見直しを行っている。 現在のサービス提供の流れを見直し、さらに、組織として一貫したプロセスを再構築する姿勢がみられる。
A-1-(2) 利用者の権利擁護				
5 A-1-(2)-① 利用者を傷つけるような職員の言動、介護放棄等の虐待が行われないための具体策を講じている。	(a)	b	c	人権擁護に関する研修を実施するとともに、肯定的な声かけに関する職員の意識調査等をもとに、不適切な行為を行わないように自他で確認している。 また、介護労働安定センターの協力を得て、職員のストレスに関する悩み相談窓口を設けている。
6 A-1-(2)-② 身体拘束の廃止について明確な対応策を講じている。	(a)	b	c	平成20年2月1日から「身体拘束ゼロからの出発」の方針を掲げ、身体拘束検討委員会で拘束をしない介護方法を検討し、現在、身体拘束は行っていない。 さらに、言葉等によるソフト面での拘束も行わない取り組みを行っている。
7 A-1-(2)-③ 認知症高齢者への対応は、利用者の個別的状況を十分に把握した上で、適切なケアに努めている。	(a)	b	c	認知症高齢者自立度をサービス実施計画に反映し、介護・支援を行っている。利用者の状態を判断して、危険物は適切に管理している。 関連の研修会に参加するとともに、定期的に職員全員に研修を実施している。 利用者が安心・安全に生活できるよう、施設面にも配慮している。
A-1-(3) 預かり金・所持金の管理				
8 A-1-(3)-① 預かり金について、適切な管理体制が作られている。	(a)	b	c	自己管理の現金については、管理責任を説明し了解を得たうえでの自己管理としている。その他は、重要事項の貴重品の管理に基づき、複数の職員で確認を行い、現金預かり受取書及び支出状況を金銭出納簿に整理し、四半期ごとに家族に報告している。

評価項目	第三者評価結果				
	判定結果			判定の理由	
	a	b	c		
<b>A-2 日常生活支援</b>					
A-2-(1) 食事					
9	A-2-(1)-① 利用者の身体状況(咀嚼能力等)及び嗜好を考慮し、適切な食事を提供している。	(a)	b	c	3か月ごとに、栄養アセスメントを行い、食事形態を工夫するとともに、医師の指示による治療食も提供している。 利用者・家族に嗜好調査を実施し、献立に反映させている。献立・産地情報はオープンスペースに掲示している。
10	A-2-(1)-② 食事を美味しく、楽しく食べるための喫食環境に配慮している。	(a)	b	c	給食委員会で定期的に検討し、改善を図っている。個人の状態に応じた、座位やオーバーテーブルの利用、できる限り車いすから椅子に移動し、落ち着いた状態で食事がとれるよう工夫している。職員の食事介助やさりげない声かけで、和やかな楽しい食事時間を設けている。
11	A-2-(1)-③ 自力で食事を摂取するための支援や配慮が十分なされている。	(a)	b	c	年1回、歯科医師による健診を実施するとともに、歯科衛生士による、口腔体操や口腔管理を行い、口腔機能の向上を図っている。 経管栄養から経口摂取への移行や、スプーン・カップ等の自助具の使用により、自力摂取に努めている。
A-2-(2) 入浴					
12	A-2-(2)-① 入浴は、利用者の心身の状態や必要な介助などの個人的事情に配慮している。	(a)	b	c	看護師によるバイタルサインのチェックと朝のミーティングから判断し、入浴を実施している。 利用者の希望を尊重しながら、マニュアルにそって、入浴介助や支援を行っている。介護情報共有シートに入浴の記録が整備されている。
13	A-2-(2)-② 入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	(a)	b	c	入浴日以外でも、希望により毎日入浴可能であり、利用者の体調により、清拭・足浴等で清潔を保っている。また、同性介助にも対応している。
14	A-2-(2)-③ 浴室・脱衣場等の環境は適正である。	(a)	b	c	業務改善委員会で、環境整備等の検討を行っている。定期的な水質検査と毎日2回、簡易検査を実施し、清掃や消毒も徹底しており、浴室・脱衣場の環境は衛生的で快適である。
A-2-(3) 排泄					
15	A-2-(3)-① 排泄介助は快適に行われている。	(a)	b	c	生活チェック表により、利用者の排泄サイクルをチェックし、適宜、排泄の誘導・介助を行っている。 マニュアルが整備され、排泄介助時には、ひざ掛けを活用するなど、プライバシー保護にも努めている。
16	A-2-(3)-② 排泄の自立について、利用者個々の状況に応じた適切な取組を行っている。	(a)	b	c	各利用者の今後の対応目標を掲げ、利用者の状態に応じたポータブルトイレの大きさ・高さにするなど、排泄の自立支援を行っている。 トイレの部屋を広くしたり、アコーディオンカーテンを引き戸に改造するなど、自立支援に向けての環境整備も行っている。
17	A-2-(3)-③ トイレは清潔で快適である。	(a)	b	c	清掃チェック表による定期的な清掃以外に、汚れたら即対応し、汚物はすぐに処理することで、清潔・防臭に努めている。 トイレ内に個室シャワーを設置し、利用者が失敗しても、プライバシーを保ちながら快適な排泄支援ができています。
A-2-(4) 衣服					
18	A-2-(4)-① 利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択や着替えについて支援している。	(a)	b	c	利用者の意思を尊重し、必要に応じて、情報提供や相談・買い物支援を行っている。家族会に地元の業者が参加することがあり、利用者と家族と一緒に買い物できる機会も設けている。
A-2-(5) 理容・美容					

評価項目	第三者評価結果			
	判定結果			判定の理由
	a	b	c	
19 A-2-(5)-① 利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	○a	b	c	毎日、モーニングケアを行っている。定期的に理容スタッフが訪問し、理美容の情報を提供するなど、利用者の希望にそった散髪を実施している。また、希望者には馴染みの理美容院の送迎も行っている。
A-2-(6) 睡眠				
20 A-2-(6)-① 安眠できるように配慮している。	○a	b	c	エアコン・ダウンライトの調節や電気毛布等の貸し出し、ナースコールの音量や足音等にも注意を払い、安眠しやすい環境づくりに努めている。夜間、不安者や不眠者には、職員が個別に対応し、記録をしているが、今後、今までの実績をもとに、マニュアル化への取り組みがみられる。
A-2-(7) 健康管理				
21 A-2-(7)-① 日常の健康管理が適切に行われている。	○a	b	c	毎日のバイタルサイン等の健康情報を職員が共有し、健康管理を行っている。医務室年間報告書に健康管理の状況を記録し、必要に応じて、嘱託医や看護師による健康相談も受けられ、健診結果などは利用者・家族にも報告・説明を行っている。
22 A-2-(7)-② 必要な時には、迅速かつ適切な医療が受けられる体制が整備されている。	○a	b	c	緊急時の対応マニュアルと緊急時の連絡先を電話台に設置し、即、対応できる体制が整備されている。緊急時の対応医療機関も確保されている。
23 A-2-(7)-③ 内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている。	○a	b	c	服用薬品名カードをカルテ・介護シートに添付し、薬物に関する情報を職員が共有・理解している。薬剤は鍵のできるロッカーに保管されており、1週間分を曜日別に整理し、投薬は厳重にチェックするなど工夫しているが、使用状況の記録については、今後、改善していく取り組みがみられる。
24 A-2-(7)-④ 褥瘡の予防に対して、具体的取組が行われている。	○a	b	c	介護・栄養・治療方法を記載した褥瘡管理シートの活用や医療ケア対策推進委員会で検討・評価し、褥瘡予防に取り組んでいる。排泄介助・入浴時に皮膚の状態を観察し、早期発見に努めている。
25 A-2-(7)-⑤ 医療機関の入退院時の対応が適切に行われている。	○a	b	c	重要事項説明書に基づき、入退院時の対応を利用者・家族に説明している。入院時には介護情報共有シートを申し送りに活用し、入院中も訪問し、退院時には関係職員が申し送りを受けるなど、医療機関との連携を密に図っている。
A-2-(8) 衛生管理				
26 A-2-(8)-① 感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止に関するマニュアル等が整備されており、職員全員に周知徹底され、活用されている。	○a	b	c	予防と発生時の対応マニュアルを作成し、適宜、感染症対策委員会で見直しを行っている。職員会議で毎月研修を実施し、感染症予防について周知徹底を図っている。外来者には玄関等に手洗い方法の掲示や手洗液・うがい薬・マスクを設置し、まん延防止の協力を依頼している。
27 A-2-(8)-② 厨房や調理器具等の消毒、殺菌を徹底するなど、衛生管理体制が確立している。	○a	b	c	委託業者(衛生管理マニュアル)による管理体制が整備されている。厨房の入室は、業者と検便を実施している管理栄養士としている。
A-2-(9) 機能回復訓練				
28 A-2-(9)-① 機能回復訓練は、個々の利用者に合った個別プログラムを策定し、実施している。	○a	b	c	理学療法士のアドバイスを得て、機能訓練に関する指針に基づき、個別のプログラムを作成し実施している。ケアプラン作成時や3か月ごとに理学療法士とともに見直しを行っている。
A-2-(10) 移乗・移動介護				

評価項目	第三者評価結果			
	判定結果			判定の理由
	a	b	c	
29 A-2-(10)-① 移乗・移動介護が適切に行われている。	○a	b	c	利用者の状況により、介護職員1~2人体制で介助している。車椅子や歩行器等の福祉用具を活用し、自立支援に取り組んでいる。 危険だと思ふことをワンポイントレッスン等で研修を行っている。
A-2-(11) レクリエーション・余暇				
30 A-2-(11)-① レクリエーションや行事の実施については、利用者の意向を聞き、十分に反映した取組を行っている。	○a	b	c	利用者の趣味や特技を活かしたクラブ活動や、レクリエーション委員会で内容を検討し、利用者の希望を取り入れたメニューを提供している。 利用者以外の方が参加できる、介護みらい文化祭・夏祭り・ショッピング等の行事も企画している。
31 A-2-(11)-② 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意思や希望に沿って利用できる。	○a	b	c	テレビ・ラジオ・新聞の持ち込みや新聞・雑誌の購読が可能である。共同利用に関しては、新聞は2社を購読し、テレビのチャンネルは多数決で決めている。
32 A-2-(11)-③ 嗜好品については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の日常生活の継続性が保たれるように配慮している。	○a	b	c	嗜好品については、利用者の健康状態を配慮しながら、意思を尊重している。喫煙に関しては、指定した場所での喫煙としている。 冷蔵庫の持ち込みも可能であるが、生ものについては、利用者の了解を得て、賞味期限等を確認している。
A-2-(12) 送迎				
33 A-2-(12)-① 送迎車両の運行に関して、安全性・快適性に配慮している。	○a	b	c	車両確認についての遵守事項に基づき、車両点検表にチェックを行い、安全運転に心がけている。運転職員は、体調不良・緊急時等に対応できるよう複数体制としている。
34 A-2-(12)-② 送迎車両への乗降時及び車両内での安全に配慮している。	○a	b	c	ケアマネージャーや生活相談員からの利用者の確認状況をもとに、乗降時の介助を行っている。安全運行マニュアルにそって安全運転に努めている。車両については安全性に努めている。
35 A-2-(12)-③ 送迎時の交通事故や急病の発生など、緊急時の対応マニュアルが整備されており、適切に対応が行われている。	○a	b	c	緊急時の対応マニュアル・緊急連絡先を車内に設置し、対応できる体制は整備されている。 安全運転コンクールに毎年参加するとともに、年度当初に研修も実施している。また、車両の大きさにより、複数の人員を配置している。
<b>A-3 家族との交流・連携</b>				
A-3-(1) 家族との交流・連携確保				
36 A-3-(1)-① 家族との交流・連携が積極的に行われている。	○a	b	c	毎月発行の「ゆたか通信」で行事の案内をするとともに、利用者の状況を報告している。年3回の家族会やケアプラン作成時以外に、随時、家族との話し合いの機会を設けている。プライバシーが守られる面会室や家族が宿泊できる設備も確保できている。
37 A-3-(1)-② 外出・外泊は利用者や家族の希望に応じて行われている。	○a	b	c	近隣町のガイドマップを利用者と一緒に作成し、イベント情報をオープンスペースや玄関に掲示している。 外出・外泊は利用者の希望を尊重している。遠距離の外出の送迎にも対応し、利用者に喜ばれている。
A-3-(2) ターミナルケア(終末期の介護)				
38 A-3-(2)-① ターミナルケアを利用者・家族の希望に応じて行っている。又は、ターミナルケアを検討している。	○a	b	c	家族に、看取りに関する具体的な流れについて説明し、家族の意思を確認し、同意を得たうえで対応している。 施設長によるターミナルケアの研修を行うとともに、実績から得た成果や課題を前向きに検討している。